

普通科と理数科について

Q1 どちらの科が大学進学に有利ですか？

A 一概にどちらとは言えません。
大切なことは自分が将来どのような進路を目指し、どのような力を高めたいと考えているかということです。現時点で理系(理学・工学・医学など)への進学希望を固めている人は、理数科で「課題研究」などの学習を通して科学的な探求力を高めることが将来大きな力になるといえますが、どちらの科の方が直接進学に有利ということはありません。

Q2 学校生活を送る上で、科による違いはありますか？

A 授業科目(教育課程)以外の違いはありません。
日課(授業時間など)は同じで、クラブや生徒会、クラスマッチや研修旅行などの行事も、科の区別なく、一体となって行われています。

入試について

Q1 入試の方法はどうなっていますか？

A 前期選抜は、自己推薦入試になっており、理数科において実施します。提出書類、作文、面接により選考します。募集人員は定員の90%です。
後期選抜は、提出書類と筆記試験により選考します。理数科については、数学と理科が1.5倍の傾斜配点となります。

Q2 普通科を第2志望にすることはできますか？

A 後期選抜は可能です。理数科を第1志望、普通科を第2志望にすることができます。その逆も可能です。

Q3 入学後、転科はできますか？

A 履修する授業科目(教育課程)の違いにより転科はできませんので、十分考えて志願してください。

その他

Q1 土曜日に学校として工夫していることはありますか？

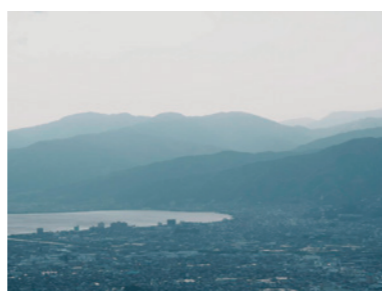
A 本校は午前3時間の**土曜日授業**を年7回実施しています。その他にも、「クロスベンアカデミー」という組織があり、**年2回の講演会、模擬試験の実施、自習室の開放、希望者に対する補習授業の実施**など、生徒の学力向上のための手立てを講じています。

Q2 教科の学習とクラブ活動は両立できますか？

A 自由な雰囲気の中で学習と特別活動を通し豊かな人間性を養うことを教育目標としていますので、**両立できることを目指し、多くの生徒がクラブ活動に参加しています。**
本校では教科学習や進路指導等で生徒のみなさんを手厚くサポートしていますが、生徒会やクラブなどの特別活動も重要だと考えて、放課後を中心に活動を保障しています。

Q3 55分授業だと聞きましたが？

A 本校では、昨年度より**55分授業**(6時限日課)を実施しています。新学習指導要領や大学入学共通テスト(新テスト)に向け、各教科でより質の高い充実した授業を目指しています。また、1年間を前期と後期に分け、**2期制**としています。



表紙・裏表紙写真 提供:写真部
2A 藤原, 2E 亀田, 2E 吉川,
2F 菅原, 3B 松村, 3D 桑原,
3E 清水, 3E 武藤, 3E 廣中

高 き を 求 め



2019 CAMPUS GUIDE
長野県伊那北高等学校

〒396-8558 長野県伊那市山寺2165
TEL.0265-72-2221(代表)
FAX.0265-76-8969
<http://www.nagano-c.ed.jp/ina/>



長野県伊那北高等学校
2019 CAMPUS GUIDE

ペンは 剣より強し

The pen is mightier than the sword.



たぐへて行かむ 我が友よ!

みんなでつくるキャンパスライフ

多彩な行事

- 4月 入学式・対面式
春期クラスマッチ
- 6月 ペン祭
- 8月 秋期クラスマッチ
- 9月 中学生体験入学
合唱コンクール
強歩大会
- 11月 研修旅行(2年)
- 2月 1年ミニ課題研究発表会
理数科2年課題研究発表会
- 3月 卒業式



部活に熱中

平成30年度は、フェンシング部が全日本選手権と全国高等学校選抜大会へ、将棋部・囲碁部・天文気象部が全国高校総合文化祭へ出場を果たしました。また他にも全国レベルの大会において個人競技でも顕著な成績を残しています。(自転車競技・アイスホッケー)多くの生徒が部活動と学習を両立させながら、県大会・北信越大会へと駒を進め活躍しています。

運動部

- 野球 ●ラグビー ●男子バスケットボール ●男子テニス ●ソフトテニス
- フェンシング ●バドミントン ●女子バスケットボール ●女子テニス ●水泳
- 陸上
- 弓道
- 剣道
- 男子バレーボール
- 女子バレーボール
- 卓球
- サッカー



学芸部

- 囲碁 ●演劇 ●弦楽
- 将棋 ●英語 ●書道
- 美術 ●生物 ●歴史研究
- 文芸 ●化学 ●家庭科
- 写真 ●物理 ●イベントプランニング
- 天文気象 ●吹奏楽 ●ダンス
- 軽音楽 ●合唱 ●漫画研究



本校の伝統 ～勉強に打ち込み未来を拓く～

本校は大正9年(1920年)、旧制伊那中学校として開校されて以来、地域の人々の期待に応え、地域と日本の明日を拓くことのできる力を備えた人材の育成を目指すとともに、校歌の一節にもあるように「高さを求め」て勉強に打ち込むことを大切にしてきました。学園のある高台は、「薫ヶ丘」と呼ばれています。

地元をはじめ、各界で活躍する本校の卒業生の数は現在2万3千人を超え、来年2020年には創立100周年を迎えます。

校章の由来

開校後まもなく校章の制定が検討され、その図案化の過程で当初は「ペンと剣」とをあしらい文武両道を象徴しようという意見もありました。しかし、その後論議を重ねられた末、二つのペンを交差させ「ペンは剣より強し」(The pen is mightier than the sword.)という理想を表す現在の校章に定められたといわれています。

普通科

4年制大学をはじめとする幅広い進路が実現できるカリキュラムです。教科学習はもちろんのこと、人間としての力を蓄えられるようなキャリア教育も充実しています。1年次は探究学習を基盤に学習習慣を確立して社会常識を身につけ、2年次から文系・理系別の授業を取り入れて将来の進路を具体化します。3年次には各自の進路希望に合った科目の履修ができるようになっています。また、2年次には、クラス替えを行い、交友関係が広がっています。



1学年総合学習

理数科

「自ら考え・自ら実験・自ら創造し得る本物の力」を掲げ、基礎学力の充実をはかるとともに、実験・観察や演習などを通し、より広く深く自然科学を学びます。大学の理学部、工学部、医学部、薬学部、農学部などで学び、この方面で活躍したいと考えている生徒が多く学んでいます。大学と連携して、より高度な内容を学習する取り組みも積極的に行っています。

豊かな理数科ライフ

理数科の特色のひとつは「課題研究」です。2年生になるとひとつのテーマを決めて、それに1年間じっくりと取り組み、自ら探求する態度を身につけます。研究テーマは理数に関するものなら何でもOKです。研究は毎年一冊の報告書にします。

昨年度のテーマは、「紙飛行機が遠くまで飛ぶ条件」「新聞紙橋～新聞紙20枚で人が渡れる橋を作ろう～」「樹木の傾きと地すべりの関係」「上伊那産メダカの性転換体における産卵と系統の分析」「溶質の種類による膜透過性の違い」「グラウンドコンディションと碎屑粒子の関係」「フィボナッチ数列[自然界に存在するフィボナッチ数列]」「炭の種類と脱臭効果の科学的検証」でした。毎年ユニークな発表があり、新聞にも取り上げられています。

1～3年次にわたり、クラス単位で勉強する機会が多いことも特徴で、多くの先輩は「希望する進路が同じ仲間が周りにいて、いい刺激になった」と言っており、切磋琢磨し合える環境があります。また、研修旅行などの学校行事は普通科と一緒にしています。



生徒主体で行われる課題研究発表会

進路を強力にサポート ～学力こそ伊那北の底力～

「ようこそ教授」「こんにちは先輩」「総合学習」などの豊富な講演会や体験活動を通じて、生徒の大学進学等の進路実現を強力にサポートする指導体制と進路実績は高く評価されています。また、昨年度より1日の日課を6時限(1コマ55分授業×6時限)に変更し、新学習指導要領や大学入学共通テスト(新テスト)に対応できるよう授業内容も研究、工夫しています。充実した補習や模試、自学自習の道場となる自習室、土曜日を活用する「クロスペンアカデミー」など生徒自らが「気づき、考え、行動する」場面を設け、生きる力を高める指導を行っています。



実習生と語る会



卒業生と語る会

本校卒業生が、司法、中央・地方の行政、自然科学や人文科学等の各学問研究、諸産業界、医療・福祉や教育・文化等の様々な分野の一線で活躍しています。

過去3年間の本校卒業生の主な合格大学と人数

●東京大学 1人	●横浜国立大学 4人	●東京理科大学 24人	●国公立大学合格者延べ数 386人
●京都大学 6人	●千葉大学 9人	●明治大学 31人	●国公立大学医学部医学科合格者延べ数 6人
●北海道大学 8人	●信州大学 83人	●青山学院大学 10人	●私立大学合格者延べ数 947人
●東北大学 3人	●金沢大学 11人	●立教大学 17人	
●名古屋大学 14人	●山梨大学 13人	●中央大学 24人	
●大阪大学 1人	●静岡大学 22人	●法政大学 30人	
●九州大学 1人	●広島大学 1人	●学習院大学 3人	
●東京工業大学 3人	●大阪府立大学 1人	●国際基督教大学 1人	
●東京医科歯科大学 2人	●名古屋市立大学 1人	●関西学院大学 4人	
●お茶の水女子大学 2人	●長野県看護大学 15人	●関西大学 10人	
●東京外国語大学 2人	●早稲田大学 10人	●同志社大学 7人	
●東京学芸大学 3人	●慶応義塾大学 8人	●立命館大学 31人	
●筑波大学 15人	●上智大学 8人	●自治医科大学 1人	

